

しぜんの国保育園運営方針

H.25年度はこんなことを計画しています

しぜんの国保育園 は

様々な専門家を保育園の中に呼び、多くの新しい世界を子どもたちに披露します。

子ども同士の様々な関係性を得るために異年齢保育をより充実させます。

地域とのより深い関係を築けるように、住民の方々と子どもたちとが関わりあえるようにします。

いきいき

人

園に関わる全ての
人の成長

子どもの成長・発達に
寄与する人は
すべて保育者

生活

躍動感あふれる
保育活動

こどもたちの
たからものを
大切にします

社会

地域児童福祉の
拠点

地域で安心して
子育てができるように

リスクマネジメント

職員育成 / 健康・研修

実習・ボランティア

安全衛生 / 車両管理

保護者との交流

自分自身

家庭

モノ
コト
ヒト

環境

地域交流

第三者評価

個人情報保護
・
人権擁護

施設整備

内外会議参加

子どもの成長・発達に
寄与する人はすべて保育者

- ・リスクマネジメント
避難訓練や緊急時の対応、自然体験時の基礎知識を深めます。BCPマニュアルの作成を開始します。
- ・職員育成
人材育成制度を改正し、エキスパート制度を導入します。
内部研修を充実させ、人材育成に力を注ぎます。
- ・実習／ボランティア
入職試験をある程度装丁した実習の受入れを行います。また、近隣の芸術大学とのパイプラインを作りボランティアを受け入れます。
- ・安全衛生／車両管理
新園舎工事に伴い、駐車場の管理に一層の注意を注ぎます。
- ・保護者との交流
保護者の中から、子どもたちの講師となってもらえる方を募集します。

「子どもたちのたからもの」を大切に
します

- ・自分自身
0・1歳グループ、2歳、3・4・5歳児グループといったチーム分けを日常とし、異年齢保育を推進します。
自らのやりたい事を選べる時間「しぜん谷」、専門的な活動をする「ワークショップ」、同年齢との取り組みを行う「クラス」という3つの活動時間を使い、様々な関係性を養います。
- ・家庭
「学びの記録」という保育園と家庭を繋ぐ冊子を作成し、子どもの成長を相対的に考える環境を作ります。
- ・モノ・コト・ヒト
新園舎のための保育用品を購入していきます。
異年齢保育を実行するにあたり、人事配置を例年とは異なった形で設定します。
- ・環境
子どもの事を少しでも多く語り合える環境を整えます。

地域で安心して
子育てができるように

- ・地域交流
地域住民の方々がしぜんの国の園児たちと交流できるように、「地域の日(仮称)」の設置を考えます。
- ・施設整備
新しい園庭の整備に力を注ぎ、保育所体験としての昨日を充実させます。
- ・内外会議参加
継続中の東京社会福祉協議会地域役員を続け、積極的に外部保育所との連携を行っていきます。